

# 価値創造プロセス

## 事業環境／社会課題

- お客様の「期待」「ニーズ」の多様化
- 産業のEC化の急進展
- 総人口の減少と地域社会インフラの衰退
- 労働人口の縮小
- 気候変動と資源減少

### 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした全産業のEC化のさらなる加速

- 消費行動：さらなるEC化、非対面を含むオムニチャネル化
- 流通構造：在庫・供給ルートの全体最適化

## 目指す姿

- 経営理念： 豊かな社会の実現に貢献
- 環境ビジョン： つなぐ、未来を届ける、グリーン物流
- 社会ビジョン： 共創による、フェアで、  
“誰一人取り残さない”社会の実現への貢献



持続的な  
企業価値向上

## 経営資源／強み (2022年3月現在)

### 顧客基盤

- 法人顧客 ▶ ビジネスメンバーズ：約**148万社**
- 生活者 ▶ クロネコメンバーズ：約**5,400万人**



### 人財

- セールス担当 ▶ アカウントセールス／セールスドライバー：約**6万人**
- カスタマー担当 ▶ ゲストオペレーター／コールセンターオペレーター：約**2.5万人**



### 物流ネットワーク

- 拠点ネットワーク ▶ 法人関連オペレーション拠点：約**400拠点**
- ▶ 営業所(宅急便)：約**3,500拠点**
- 輸配送ネットワーク ▶ ラストマイル(宅急便・EAZY・ミドルマイル)国際輸送(フォワーディング・アジア越境陸上輸送)



### 情報

- リアル・デジタルの顧客接点 ▶ アカウントセールス／セールスドライバー／ゲストオペレーター／コールセンターオペレーター／クロネコメンバーズ／ビジネスメンバーズ
- データ ▶ 荷物流動データ：年間**22億超**
- ▶ ヤマトデジタルプラットフォーム



### 財務

- 健全性 ▶ 格付け：**AA-**

## 提供する価値

- 生活者向け： **さらなる生活利便性の向上**
- 法人顧客向け： **企業価値向上の支援(物流効率化に留まらず、在庫の適正化や売上最大化、バックオフィス業務の効率化など経営課題の解決を支援)**
- 社会向け： **環境負荷の低減と環境レジリエンスの向上、生活の質(QOL)の向上**

## 社会的インフラを担うヤマトグループ

### 中期経営計画「Oneヤマト2023」

Oneヤマトに結集した経営資源を最適な形に組み合わせ、サプライチェーンの変革に向けて「End to End」で価値提供

サプライチェーンをトータルに支援する、経営パートナーへの進化

「ECエコシステム」の創出

グループインフラの強靱化

データ分析に基づく経営資源の最適配置

データ戦略とイノベーション戦略の推進

経営体制の刷新とガバナンスの強化

「運創業」を支える人事戦略の推進

資本効率の向上

サステナブル経営の強化

エネルギー・気候

大気

資源循環・廃棄物

社会と企業のレジリエンス

労働

人権・ダイバーシティ

安全・安心

データ活用・セキュリティ

サプライチェーンマネジメント

地域コミュニティ

### 経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」

### コーポレート・ガバナンス

### グループ企業理念

## 目標 (2024年3月期)



### 財務

- 連結営業収益：**2兆円**
- 連結営業利益：**1,200億円**
- 連結営業利益率：**6%**
- 親会社株主に帰属する当期純利益：**720億円**
- ROE：**10%以上**



### 環境\*

- GHG\*1排出量：2021年3月期比**10%削減**\*2
- GHG排出原単位：2021年3月期比**10%削減**\*2
- 再生可能エネルギー由来電力：**30%使用**
- \*1 温室効果ガス
- \*2 国内連結および(株)スワンの自社排出(Scope1とScope2)



### 社会\*

- 社員\*31人当たり営業収益向上：2021年3月期比**15%増加**
- 社員1人当たり残業時間：2021年3月期比**20%削減**
- 有給休暇取得率：**90%**
- \*3 換算人員
- 重大交通事故\*4件数：**0件**
- 交通事故(対人事故)件数：2020年3月期比**50%削減**
- 重大労働災害\*5件数：**0件**
- 休業災害度数率：2020年3月期比**20%削減**
- \*4 有責死亡交通事故 \*5 死亡労働災害

\* 「サステナブル中期計画2023」より抜粋

▶ 環境・社会の目標詳細はP34~35をご覧ください。